4- I -21

4-1-21				
章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		肋如节口	ピーカ時も相中した取各立てもたのやき
節	I. アクセス	ルートの整備・来訪者の誘導等	取組項目	ピーク時を想定した緊急受入対応の検討
			事業主体	佐渡市建設課
事業(施策)名		21 渋滞等予測調査の実施	関連団体	
事	業実施期間	H28~R6		観光振興課、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	 【事業目的】 ○ ピーク時を想定した渋滞等予測調査を実施することにより、駐車場や代替交通、仮設トイレ等の整備・検討を行う際の資料とする。 【事業内容】 ○ 現況の交通量調査を踏まえ、登録前後の増客想定による渋滞予測を行う。 			
	【本計画終了時点のゴール】 〇 相川地区での渋滞緩和対策の具体的内容を決定する。			
これまでの取組実績	 ○ 令和元年~2年度にかけて、交通量予測及び渋滞対策の検討を行った。 結果を関係課と情報共有し、各課、新規事業の検討を促して本事業を完了した。 ○ 佐渡金銀山へのアクセスルートについて、相川市街地以外では交通混雑は発生せず、相川市街地では、相川大工町付近の2方向1車線区間において、世界遺産登録後、短期的に観光客が増加した場合、夏季の朝と夕方で一時的に交通渋滞が発生する可能性が高いと推計された。それを基に渋滞緩和の対策を選定し、併せて駐車場及びトイレの整備について検討する準備を行った。 			
事業計画と実績	【R5年度計画	● 事業完了により計画なし		
課題・				
今後の取組	【今後の取組	i】 ■ 関連団体等による施策への協力		
事業評価	【ゴールに対 〔 A · E	するR5末の達成度】 ◇ R2事業完了済)· C 〕		

A:予定を上回る進捗

B:概ね予定どおり

C:遅れている。